



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2022年11月10日 No.543

2022年度 年末手当に対する

Part 7

労働組合に加入していないJR東日本社員の声！

- ★ 会社は低く抑えようとする。高く要求しないとダメだ。低く要求しても意味がない。それだけ働いているのだから高く要求して良い。(関東)
- ★ 次々に出される施策で現場は疲弊しています。社員の士気を上げるためには手当の増額しかありません。(東北)
- ★ 今は一人何役もの仕事をこなしています。しかしその割に手当に反映されていないと感じています。ぜひ、3.7ヶ月の満額を取ってほしいです。(関東)
- ★ 攻めている要求ですね。でも3.7ヶ月はぜひ欲しい！これまで会社のこと協力してきました。黒字になっても低額回答であれば本当にやってられません。(信越)
- ★ 同級生との会食で給料の話になり、基本給を教えたら同級生たちに「えっ？」と言われました。周りからはJRは高いと思われているようです。同級生の中では低い基本給ですが、今まではボーナスはうちの会社が一番良かったです。コロナ前の年末手当に戻ってほしいです。年間6.0ヶ月は必要です！(関東)
- ★ 全国旅行支援が始まり、鉄道開業150年もあり期待しています。3.0ヶ月は出してほしいです。会社の「厳しい」は聞き飽きました。(信越)
- ★ 高い要求ですが、主張しないと出ないのも分かります。気持ち的には4ヶ月は欲しいです。ボーナスが低いとモチベーションが上がりません。ただ、黒字になったことと、コロナ前の支給水準に戻すことには同意しますが、正直、会社は負債もあり、それをどうするのかと考えてしまいます。でもこの間の頑張った対価として、ボーナスは欲しいです。(関東)

東日本ユニオンは団体交渉で

みなさんの声を経営側にぶつけています！



2022年度年末手当<<第3回団体交渉>>

11月11日 14:00～

経営側は各地から寄せられる社員の声に満額回答で応えるべきだ！